

目次

ごあいさつ(歴博)	2
ごあいさつ(民博)	3
開催の主旨	4

第Ⅰ部 古代の境界

【古代の境界と移動】

1. 境界の認識

出土資料が語る世界の広がり

◎南朝の世界

コラム 建康城と瓦

◎北朝の世界

コラム 三燕の世界

◎高句麗の世界

コラム 国内城

コラム 平壤城

コラム 壁画古墳

コラム 双楹塚

◎百済の世界

コラム 風納土城と夢村土城

コラム 百済における墳墓の多様性

コラム 柴山江流域の「世界」

◎新羅の世界

コラム 瑞鳳塚

コラム 慶州の新羅王陵

コラム 梁山夫婦塚

コラム 溟州下詩洞古墳群

◎加耶の世界

◎倭の世界

コラム 古墳時代中期の特質—王権と威信財—

コラム 稲荷山古墳と江田船山古墳

—王陵と地方首長墓—

王権の天下観と東アジア秩序

コラム 刀剣の授受と東アジア外交

コラム 倭王武の上表文と天下

2. 移動の実態

渡来系集落の実態

技術の伝来

墓葬にみる外来要素とアイデンティティ

第Ⅱ部 近現代の境界

【近現代の境界と移動】

1. 北方世界:北アジア

国家の進出と集団識別

◎松前と北方交易

コラム 銅雀台瓦硯

◎江戸時代の北方系住民のイメージ

コラム 『夷酋列像図』

コラム 『北夷分界余話』所収の
アイヌ、スメレンクル・ラロツコ像

コラム 江戸時代の日本の北方地図

◎元明時代のアムール、サハリン統治

コラム 函館本『永寧寺記』拓本と

『重建永寧寺記』拓本

◎清時代のアムール、サハリン統治

コラム クロテン

コラム 蝦夷錦

コラム 清(満州)の北方住民に対するイメージ

◎近代国家の支配と住民の「先住民族」化

コラム シュレンクとマークによる民族調査

コラム 近代国家の開発政策と先住民族

—旭川のアイヌ民族の事例から—

北方諸民族の世界

◎ナーナイ、ニヴフ、アイヌの衣装の相違

コラム 魚皮衣

◎移動手段—夏は舟 冬はそり—

◎生産用具

—高度に発達した毛皮獣狩猟のための用具—

◎シャマニズム

—狩猟儀礼とシャマニズムに現れる民族伝統—

コラム ナーナイのセウエン

コラム 2種のクマ儀礼

コラム シャマンの太鼓と帯

2. 南方世界:東南アジア

モン族の世界

コラム 現代におけるモンの移住

コラム ラオス難民

コラム 銀と少数民族

コラム ケーン(qeej, qheej)・蘆笙

ミエン族の世界

コラム 焼畑の世界

コラム 大堂画(十八神像)

ラフ族の世界

コラム ラフ族のキリスト教への改宗

コラム ラフが代々南に下ってきた話

論考篇

東アジア古代の王権・王陵・境域 東 潮 178

五世紀以降の倭と朝鮮の国際関係 仁藤敦史 186

越境の社会史

—モン(Hmong)の移住・焼畑耕作・銀をめぐる

谷口裕久 189

ユーミエン(ヤオ)の生活と文化 吉野 晃 201

ラフ族 片岡 樹 209

協力者・展示プロジェクト委員 215